

2024年3月10日の報告

# 原発いらん! 山口ネットワーキング

命の海を守ろう!

429号

次の集り

2024年4月14日(日) 13:30

周南市役所 シビック交流室 6

関西電力へ署名提出

## 関西電力へ行こう!

2024.4.16(火) 13:30~

上関町中間貯蔵施設反対の署名

### 262,700筆の署名と共に 抗議を!

署名提出は13:30~5分間。14:30まで抗議集会  
を持ちます。是非駆けつけて下さい。

関西電力(株)本店 大阪府大阪市北区中之島3丁目6-16 TEL 06-6441-8821

山口県パブリックコメントを募集中!

2024 3月に山口県は「生物多様性センター」を開設。  
生物多様性保存のための取組みをはじめ  
ました。

県では周南市から祝島、八島、平郡、大島を全  
くお山国までの広い海域を自然公園に指定いま  
す。まさに私たちが守りたい海です。

この海の美しさ、生態系の豊かさ、自然一海岸  
の大切りなどをたくさん自然保護課にめぐら  
す。

郵送、ファックス、メールで。書式は特になし。  
自分の氏名、住所、電話番号も書く。

送り先 山口県周南市港町一丁目  
↓ ⑥ を下につけて

代表者 小中 進  
〒742-1513 山口県熊毛郡  
田布施町 森 2208  
TEL.FAX. 0820-55-6291  
振込口座(年会費2000円)  
(郵)01590-5-27469  
口座名「原発いらん!山口ネットワ-ク」  
作製・印刷・発送  
周防灘の自然を守る会  
三浦 翠とメンバーズ

2024. 6/9  
とめよう!  
原発依存社会への  
暴走 大集会  
大阪市内で集会、チマ  
連絡先 090-1965-7102

3月23日、上関原発を建てるせない、核のゴミはいら  
ない山口大集会が、大雨の中開催。80人が集いまし  
た。くわしい内容は ↓ P ③ ④ ⑤ ⑥ に。

## 上関原発反対「大集会」



命の海と書かれた紙を掲げる参加者

山口に800人集う

使用済み核燃料  
核燃料  
どこへ

中国電力が上関町内で  
計画の原発建設して、使  
用済み核燃料の中間貯蔵  
施設の建設に反対する  
「上関原発を建てなせな  
い山口大集会」が23日、  
山口市の県維新百年記念  
公園野外音楽堂であつ  
た。雨が降る中、県内外

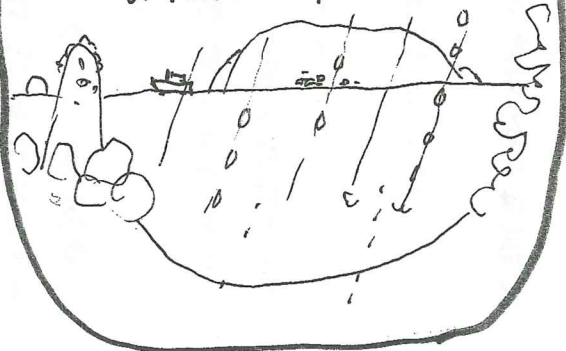
から約800人(主催者  
発表)が参加し計画の撤  
回を訴えた。  
県内の住民たちでつく  
る連絡会が開いた。原  
発の元作業員の今野寿美  
雄さん(60)＝福山市＝が  
講演し、「みなさんが声  
を上げ続けなければ計  
画を無理強いされる。声  
を合わせて、反対の意思  
表明をして」と力を込め  
た。  
計画の巨紙撤回を求め  
る集会宣言を採択し、参  
加者は「命の海」と書か  
れた紙を一斉に掲げた。  
連絡会の共同代表の清水  
敏保さん(66)は「全国の  
仲間と連携し、撤回に向  
けて全力で取り組んでい  
く」と呼びかけた。  
(藤田龍治)

中間貯蔵施設は危険です。  
日本は40トンのプルトニウムを  
持っています。これは核兵器の  
材料になるものなので、国際的に  
非難されています。  
それで日本政府はこれ以上増や  
しませんと約束しています。  
使用済み核燃料を再処理すると  
プルトニウムができます。  
それで、たとえ再処理工場が動い  
としても再処理はできません。  
上関に置いたら置きっぱなしにな  
っているのはそのためです。

(文責 三浦)

## 田の浦ピクニック & ビーチクリーン

3月は雨で 雨日とも  
中止になりました。  
次回は未定です。  
おたのしみに!





・参加地域 田布施、老、下松、周南

●上則号の記事の訂正があります。

前号、428号②ページ下段⑤で「宇部が25人

2500円集った」と書きましました。が正しくは「宇部が5人

54000円集った」です。書記の三浦による聞きまちがりで

申し訳ありません。お金と名前前は小中代表の手

もとに即渡っておりまのでご安心下さい。

① 小中代表より

3.11の中電事務所前の集会のこと、3.23の大  
集会のことご頭がいっぱいです。

街宣用のテープを流しながら昨日は田布施、  
柳井を、今日は予前中、大島をまわりました。

② 現地のようす。

中電がモノレールを通したりしはじめから、気  
になりながら現地に行けていません。

明日3.11中電事務所前集会のあと、是非行  
て見ましよう。

↓この件については次号でくわしく：

③ 明日3月11日は中電上則事務所での黙禱集会

に是非来て下さい。各地からのアピールもよう〜と

④ 2/26の上則びの々団体会議のこと。

・意見広告を集ったお金で中国新聞への意  
見広告を出す。名前をのせる。

・周辺2市4町へのポスターングは可能。

まだ途中なのでもうヤシななくポスターングでき  
るかも。チラシのデザイン料も考えると、まだ  
確定ではない。

⑤ 3.23 山口大集会のこと。

22日の夜、中島哲清さんと國公公がおります。23  
日、柳井市では今野寿美雄さんと國公公がある。  
周防大島町

⑥ 2、3月の県議会にも、中間貯蔵に反対するよ

う求める請願が3つ出されたが、県議会の  
自民党はすべてを否決した。

自民党議員からは「中間貯蔵に反対するのは  
感情論だ」とする声があり、反対の討論とあや  
笑うような反府見られたいという。

これは、いつか見た老影と同じではないか。

福島の子事故の前、原発に反対するのは感情  
論だとよく言われた。

しかし、福島で事故が起った。

自民党の議員には反対できない理由(金？)  
党からの圧力(?)があり、反対意見を感情的  
だと決めつけることご自分達を正統化(よう  
と)しているのでははないか。

⑦ 3月6日、県議会でご中嶋光男県議が、上岡町の

敗政、知事の見解等について詳しい質問をされま  
した。

県の回答は相変わらず、県は関係ないとか、答  
る立場にないとか、言うものご可成、状況がよくわか  
る傾向なので、次号で紹介したいと思ひます。

⑧ 2月28日、国会ごの院内集会のこと。

東京に午前11時に到着するのは山口県からは  
無理なので、ネットワーからは失礼致しません。ご  
インターネットは、まだ見れたいません。

⑨ 7月に予定されている「環瀬戸内海会議の総会」  
は、開催地の主催団体として、ネットワーでも  
ここに決まりました。

⑩ 郵便料金が値上げになるようだがどうするか。  
チラシの同封の範囲を原発関係にしぼるこ  
どうか。

⑪ 最近 numo の広告がやたらと多い。中口新聞2月、5月、9  
月、11月、18日と。広告は単に広告ではない。多額  
の広告費を出して新聞の内容への圧力をかけるとい  
う意味がある。

このように numo の広告が相違ぐ場合、何か隠されて  
いるのではないか。



3月23日「上関原発を建てさせない、核のゴミは  
いらない山口大集会」のこと。

三浦のメモのりの記録  
その、扱け、落さ、ミス  
二巻 敬

●大雨の中での集会となった。

ビッグシールのステージの上には屋根があり、それを囲む半円の座席の奥半分には屋根があるが前半分は雨が降り込んで座れない。

それで座席はぎゅー詰めに。

9:30「風の座」の祝鳥の讃歌、のこしてやれるだろうか父さんは、女性ボーカルの、海は誰のものが、オーマン。

続いて9人の若者による「守部太鼓」の大迫力の演奏が会場全体に一気にパワーを吹き込んだ。

●10:00「上関原発を建てさせない祝鳥島民の代表の清水敏保さんのありさつ。胸病中だがそれを感ぜさせない元気の声ぞ。

「ともにがんばりましょう」と結んだ。

●事務局長の自治労の林さんから、

中間貯蔵施設反対の署名が、5月中旬で

中電電苑 <sup>275043</sup> 筆、関電電苑 <sup>262700</sup> 筆集めたことが

発表され、中電には2月7日に提出。

受取りを済している関電にも4月中旬には提出の予定であること。

更にこれかうすでに募集を終えた新聞見聞広告と、周辺十町へのチラシのポストイングを行って行くとの報告があった。

●今野寿美雄さん(福島から、子ども脱被ばく裁判「原告代表」の証。

この国は本当にひどい。大人達が子どもを守らなくてどうするのですか。

裁判所もよばわり見て子どもたちを守らない。子ども被ばく裁判では、1.2.審とも訴えはしりおけられまじした。

アルプス汚染水のこと、薄めても毒は毒ぞう。

原発の事故を起せば次の次というんば事

が起る。

自宅に住めなくなった避難者を今、避難先の住宅から追い出しています。福島は、被害者である。口と結託して被害者を住宅から追い出している。病気は自己責任、被曝も自己責任。まさに棄民政案ぞう。

中間貯蔵も調査だと言っているが交付金をもらったら最後、工事がはじまります。

原発を稼働させるための中間貯蔵ぞう。

使甲着核燃料は持っていくところが無い。

中間貯蔵に置くのは30年と言われるが、最終処分方法が決っていない。

原発の増設ダメ、再稼働ダメぞう。

原発をやめて、再生可能エネルギーに転換しなくては。

ドイツは脱原発を達成した。日本もそっちへ行かなくてはいけないのに。

原発の60年、これの稼働なんことんでもない。原発はせいぜい30年くらいの寿命のものです。

私も原発技術者ぞう。30の時は女川原発 <sup>に居て</sup> 50

蹟的に助かった。東海オ2原発は30直前に、防

潮堤が完成して助かった。

能登地震で珠洲原発があったら本宅に大変なことになるぞう。

国や県、電力会社の言う事を信じてはダメ。彼等は自分たちは安全なところに居る、住民は見殺し。

30の時も東電の社員も逃げ、家族も逃げた。私たちが声をあげつづけなければ、あいつはいつか死にます。

「あきれはこゝも、あきらめなな。」





(3・23の集会のことのこと)

●清水康博さん(上関町議)

去年のこの集会から一年、状況はがらりと変わりました。中間貯蔵施設の問題が起りました。現地ではモニター設置が進んでいる。中電は、所内内11ヶ所をボーリングをしようとしていたが、中電所地内なので、実力どしめるとはなかなかむづかしい状況です。

上関町では関電の使甲清核燃料を持ち込むことには60%の町民が反対しています。

なぜ私たちが原発に反対しているのか、原発は安全性に不安があるからです。その不安がぬぐい切れないのに新たな危険な施設を持つてくるなど許せません。

私たちも反対の声をあげ続けるので、皆さんも共に山口県、口に対して反対の声をあげてください。

●秋山鈴明さん(上関町議・祝島漁師正組合員)

西の中、あつがとうござります。

上関町議になつて2年、町の様子もわかってきました。過疎高齢化は県内トップ。議会も好き勝手なことをやって機能不全の状況。

上関が特別なのではなく、老を引っ越しているのではない。今の世の中の縮図のよう。どこか既視感がある。

課題は見方を変えたと可能性があるといえます。変化はいつばん小なりと、いつばん大なりと、遠いところから起る。

上関を創造的な町にするべく、ポジティブにとらえて行きたい。

●高島美登里さん(上関の自然を守る会)

研究者と共に上関の自然を調査しています。この海は奇蹟の海と言われるほどに本当に素晴らしい自然です。

もしも、中間貯蔵施設の建設がはじまったら、掘削や埋立て壊滅的な自然破壊が進みます。それに私たちは断固反対します。

2020年に上関は高齢化率で中国地方10.1%です。

これまでの原発による町おこしは成功していません。そこへはんで関電のごみを持つて来るのか。

町民の東海オ2原発の中間貯蔵施設への見学者は、町が50人募集したのに22人しか行っていない。

共同通信が100名の人にアンケートを取ったところ、59人が中間貯蔵に反対と答えた。

上関には無限の可能性があると感じています。

上関ネイチャープロジェクトを立ちあげて7年、原発への賛否を問わず、上関ならではの魅力を発信しよう、盛りあげようとやっています。

おた見、海水浴など美しい海と景色を知ってもらおう。ボウは余り評判のいい魚ではないけれど、きれいな海のボウはおいしいです。

市場に出せば買いたたかれるボウを高く売れば、漁師さんも助かる。

上関に引越して15年目になります。

中電がこんな田舎の不便なところに誰が来るか、企業も人も身一つかはないと町民に劣等感を植えつけて来た。

しかし今では「上関は自然豊かなところ」が相言葉になっている。

人々の気持が変われば町は変わる。

●原真紀さん(平生町議、3児の母、この日も6人の田かの子と今年生の女の子と共に参加)

8月に中間貯蔵の問題が起きた直後に、「上関原発建設に反対する2市4町議会議員の連盟」として、2市4町に申し入れをしたことを報告。

若口市長、光市長は反対。平生町長―本当は反対はしない。うちの女房は反対。他の首長はあーい。

東田市議(町長)



(3・23 大集会のことについて)

私たちが県内の各団体は県への申し入れや署名などに取組みました。

9月から取組んだ署名が予想を越える <sup>275</sup><sub>043</sub> 筆にはなつて力をもうけました。

関電が受取りの場をもうけないと聞いて企業として許せないと回心しています。ちやんと公見の場をもうけるべきです。

私自身の話をします。

申し入れ行動などとても緊張しますが、家族とこに任せ続けるためには「原発も中間貯蔵施設もある」はダメなのがんばっています。

関東から移住を考えた方が、上岡町の西町長の話聞いて、あきらめて帰る行かれました。

移住、定住してもらいたいのに本当に口惜しいです。私と同じように小学生の子どもを持つお母さんたらちも早生町が好きなので、こどもを去るようなことにはなつたくないと言っています。

町議会でも一般質問でそのことを伝えました。

町長もできることなら中間貯蔵施設なんか作ってほしくないと言っています。

これからのみなさんの声をそのまゝ伝えていく議員になつていきたいです。早生町から声をあげ続けます。

●中村 寛 弁護士(福井法律事務所)の話

昨年(2023)10月、中電は福島島民の会に対して妨害排除請求の裁判を起こした。

中電による海上ボーリング調査の邪魔をするなどというのだが、原発計画が宙に浮いている現状で、何のためのボーリング調査か?、実は数年は前から水面下ですすのめられている中間貯蔵のためのものではないかと問うたところ、

中電は、「またボーリング調査をしないので、何に使つかは言えない」という回答。

裁判長からも「まじめに答えるように」との発言があった。続きを知りたい方は是非9月4日(日)の岩国支部の裁判の傍聴に来て下さい。

●中島哲彦さんの話(福井県小浜市から)

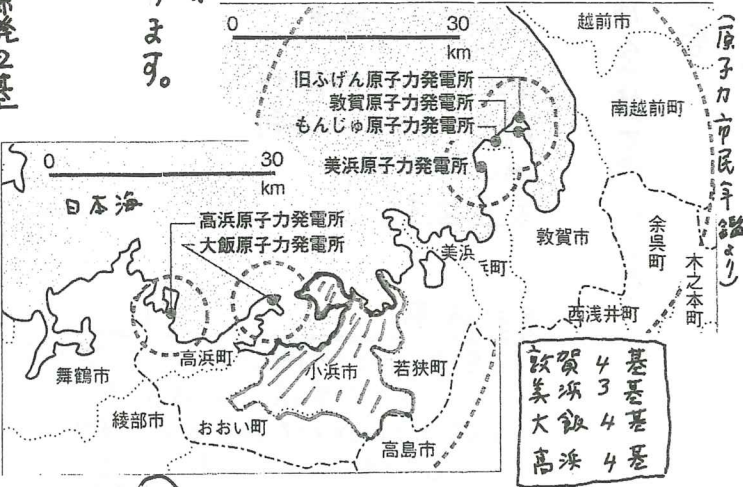
山口県はまだ一基の原発も許していないことに敬意を表します。

若狭には15基もの「原発」があり、世界一の原発密度集地です。トータル1273万kWの原発があるが、若狭が必要とするのは67万kW。

ほとんどの電力は京阪神などの都市部に送られる。

私は原発に反対する運動を半世紀も続けてきましたが、

小学生レベルの知識があれば原発が分かることはすぐわかります。



○大飯原発の1850の原発2基が一年間稼働すると、福島型原発2000の死灰が、長崎型原発の60%分のポルトニウム4がでます。

○100kwの原発は、1時間に100kw発電するといふことです。1日で2400kw、1年はその365倍です。

○お金で計算すると、1日24時間稼働すると、10億円/ヶ月で30億円、1年で360億円の利益になります。

○これだけの利益をねらう関電が原発を動かさうとする。

一方関電は阪神の瀬戸内海沿岸と和歌山に、所の火力発電所をつくっている。危険な原発だけを遠く離れた若狭に建てている。

小浜市民は3度原発を拒否、

2度中間貯蔵を拒否して来たので、現在も小浜市にはどららもありません。



(3) 23 大集木のことのつづき)

大飯原発の建設を許した事はすくなく残念です。

大飯原発10km圏内の住民の75%が小浜市民なのに、立地地面が大飯町なので、小浜市民が権利を行使できなかった。

小浜市民の9400世帯にアンケートを取ったり、86%が反対、市長も自民党系だったが市民の大多数の意見を聞いて反対した。

トップと議会にまかせたらつくられてしまう。市民の大多数が反対すれば電力会社もどうする事もできない。

小浜市では二度にわたって「原発を拒否」の回目は、「自然と文化を育む会」が小出格章さんの講演会を開き、これがよかったです。農協の婦人部の方が大署名運動をした。そして、自民党だが原発に反対の人を選んだ。

2回目、連合婦人会や小浜市政を考える会などが選んだ候補は2人共反対だった。  
市長

3月夜の囲み会で周った哲演さんの話、集会后に輪になつて周った哲演さんの話を合わせると、この文面とはあつたあせないものと深いものを感ぜました。

「核のこみ」詩歌詩や自然(ま)はあれど、他所(ま)はうらやめやと人の問ふあり(小浜市・松本浩氏) という言葉を紹介されたり、被バクテリウムについて... あとから来た者たちのためは...と。

● 県外参加団体の紹介

愛媛県中予市予市、岡山県中予市和入種会、平和フォーラム島根、鳥取県益田市和入、大分県大分裁判の会、伊方広島サイバーの会

● 長磯シンジケートのみなさんの音楽

● 集会宣言採択・パナーマンス  
● 共同代表内山新吾さんのあざむく

裁判のこと

- 中電カルテル株主代表訴訟  
2024  
4月10日、進行協議、法廷なし
- 祝島島民の会の裁判(岩口支部)  
才子回  
2024.4.18(木) 10時30分(岩口支部)
- 上関原発用地埋立延長違法裁判(3回)  
2024年5月8日(水) 14時
- 伊方原発運転差止の裁判(25回)  
2024.5月16日(木)  
10時30分(17時)

会計報告

2024年3月の会計報告ー原発いらん!山口ネットワーク

24年1月の報告の残高	112,659
収入	266,000
年会費とカンパ	500
11027売上(汚染水)	266,500
支出	266,500
1月の報告、作製、印刷、送料	26,232
2月の報告	26,516
2月例会会場費	1,400
3月	1,400
振込用紙印字手数料	1,110
意見広告募集用紙印刷	758
振込通知料	1,870
署名送料	180
	59,466
差引残高	319,693

3月16日(土)の女団体会議で決めたこと。  
● 中国新聞意見広告  
フルカラー5段、右止削を入れる。  
チラシのポスターリング、一周南以北に  
A3の2つ折4面のも。

● 時期 4月下旬頃。  
● 県へのパブコメの続行です。  
● パブコメの送り先 17501 山口市港町ノ1  
山口県環境生活部自然保護課自然・野生生物保護班 (電) 0833-9333-3050  
● ネットでは、県庁のホームページ↓組織で持ち直し環境生活部↓自然保護課↓山口県環境基本計画(「生物多様性やまぐら戦略」部分)の改定(素案)に対するパブリックコメント(国民意見の受付日)の実施について、メールでも送れます。

○ 年会費とカンパの振込をありがとうございます。  
○ カンパと下った皆様心よりお礼申し上げます。  
○ 年会費は2000円です。振込口座 01590-5-27469  
口座名「原発いらん!山口ネットワーク 会計三浦 翠」



## 柳井地域の会の中川隆志さん(市議)の報告です。

上関原発委を建てさせない県民大集会に講師としてお招きした福島県在住の元原発技術者で、子ども被ばく裁判原告代表の今野寿美雄さんとの交流会を3月22日午後1時半から3時半まで柳井市の文化福祉会館で開催した。参加者は今野さんを除き27人であった。交流会の概要を箇条書きで記す。

- 子どもたちだけでは放射能被害を守り切れないし、子どもは放射能への感受性も高い。子どもたちを護るのは大人の責任であり義務である。
- 平常時被ばく線量は年間1ミリシーベルトなのに原子力緊急事態下の福島県では上限20ミリシーベルトまで許されている。異常である。
- 3.11の時、電力会社の家族はいち早くバスで逃げた。
- 3.11の時は女川原発にいて津浪の来襲を目の当たりにした。
- 国や電力会社は原子力発電所や貯蔵所を作るために公務員や社員を派遣して住民を懐柔していく。
- 調査を受け入れてはならない。一度調査を受け入れると、国や電力会社によって最後まで方針を貫かれる。交付金が結局は地域発展の仇となる。
- よその核のゴミを決して受け入れてはならない。
- いざというときすぐ逃げられるように自動車のガソリンは常に満タンにしておく。
- 参加者から、議員がしっかりしないからこんなことになるとの意見があった。

10. この運動を続けていると心が折れそうになることがあるが、どうしたらよいかという問いに、同じ福島県出身で今野さんの友人でもある講師の神田香織さんの言葉を引用され「あきらめても、あきらめない！」ことだと述べられた。この会は柳井E愛する会の主催でした。

いつ	何か	どこで	連絡先
4月10日(水) 11:30~	朝鮮学校の補助復活をすまひのみ	山口県庁前広場	0836-218003
4月14日(日) 13:30~	原発いらん! 山口ネットワーク例会	周南市役所 シビック交流堂6	0820-556291 小中
4月18日(木) 10:30~	福島市民の会の裁判 (福島物販もありです。)	岩口 支部	
5月8日(水) 14:00~	上関原発用地埋立延長 違法裁判	山口地裁	

### 3/17中 周辺住民、反対投票8割

県東部団体企画 中電の中間貯蔵施設

**使用済み核燃料**

中国電力が上関町に建設を検討している使用済み核燃料の中間貯蔵施設を巡り、県東部の住民でつくるグループが16日、田布施町中央南の田布施地域交流館近くで賛否を問うシール投票を呼びかけた。訪れた上関町周辺の住民に協力を求め、応じた245人のうち反対が8割を占めた。

午前8時半から午後4時までの間、買い物客や散歩する人のうち、柳井

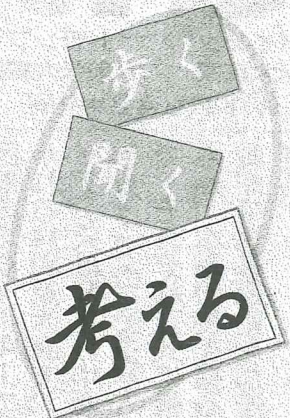
上関の中間貯蔵施設を考える周辺住民の会(約20人)が周辺住民の意識を探ろうと企画した。井上重久代表(57)「柳井市平部は「みんな言いたくない」と言う場がないだけ。首長や議員は「結果から目を背けず、住民の声に従った行動をしてほしい」と望んだ。」

(日本新聞)

光市、周防大島、田布施、平生町の住民を対象にシールをポードに貼ってもらうよう依頼。反対198人、分らない34人、賛成13人だった。

自由記述のアンケートで反対の人は「最終的な貯蔵施設になるのでは。上関だけで決めるのはおかしい」、分らないを選んだ人は「できれば近場にあつてほしいくないが電気を使うものとして簡単に反対できない」、賛成の人は「電力事情を考えると原子力以外の方法はあるのか。安全を確保し最善の選択をすべきだ」などと記していた。





特別論説委員  
宮崎 智三

老いた科学者ガリレオ・ガリレイに下されたのは、過酷な終身禁固刑だった。地球が動いているという地動説を唱え、聖書の教える天動説に反しているとして、ローマ教会から異端と断罪された。

400年近く前、権力が自分たちに都合の悪い考え方を押しつづけたと言えよう。科学的真理は天動説ではなかったにもかかわらずだ。実際、地動説の正しさは程なく証明され、ガリレオは「天文学の父」と呼ばれるようになる。

昔話だと片付けられる話ではない。科学的真理の軽視は今でも起き得るからだ。

例えば原発から出るごみ、高レベル放射性廃棄物の処分方法でも真理にそっぽを向く対応が見られる。政府は、「核のごみ」をガラス固化体に封じ込め、金属と粘土で厚く覆った上、発する放射線が大幅に減るまで、10万年ほど地層深くに埋める計画だ。

土台となったのは、核燃料サイクル開発機構（現日本原子力研究開発機構）が1999年にまとめたリポートだ。将来10万年程度にわたって十分に安定で、好ましい地質環境が日本にも広く存在すると考えられる、と結論付けた。

発表当初から多くの異論が出て

### 「核のごみ」の行方

## 科学的な議論 なぜ尽くさない

いた。地震国なのに10万年も安定した場所があるのか、疑問が拭えないから当然だろう。

リポートはこう説明する。地震や断層、火山といった天然現象は比較的限られた範囲で起こっており、規則性があるから将来の影響範囲が推論できる……と。

あまりにも楽観的だ。科学者から見れば、なおさらだろう。昨年10月には、地球科学の専門家らが「日本に地層処分適地はない」との声明を出した。賛同者を含む約300人もの連名は重い。

未知の活断層もあるし、断層以外の要因でも地震は起きる。どの程度の規模の地震が起きるのかさえ今の科学では推測できない。2011年の東日本大震災や、今回の能登半島地震もそうだった。

北欧のフィンランドでは核のごみの最終処分が始まっている、との反論もあるだろう。しかし安定した大陸の上にある欧州と、太平洋を取り巻く変動帯に位置する日本では地層の条件が違い過ぎる。

もちろん日本でも、今から10年間、たまたま安定したままの場所はある。しかし、それがどこか、今の科学的知見では特定できない。科学には限界がある。

しかも、フィンランドは原発で燃やした使用済み核燃料を「再処理」せず地層に埋める。日本はプルトニウムを取り出すため再処理する計画で、核のごみから出る放射線は桁違いに大きくなる。ガラス固化体は製造当初だと、1センチ離れた場所に数十秒いるだけ死に至るほど強い放射線を出すという。地層処分は同じでも、核のごみの危うさには雲泥の差がある。

科学者の代表機関である日本学

術会議が、どう考えるかも重要だろう。実は民主党政権時代、政府からの審議依頼を受けて、12年に提言を出している。

政府の思うように地層処分が進んでいないのは、説明の仕方の不十分さというレベルの要因ではなく、より根源的な次元の問題に由来すると指摘。従来の政策を白紙に戻すくらい覚悟を持って見直す必要があると強調している。さまざまな立場の人に開かれた討論の場の設置などを求めている。

ところが、その直後の自民党の政権復帰もあって、提言は宙に浮いたままだ。それどころか、会員候補6人の任命拒否という禁じ手とも言える人事介入によって学術会議の弱体化や変質まで企てた。

政府の方針への疑問や異論が専門家から相次いでいるのに、今も政府は耳を傾けようとしない。薄っぺらい根拠で地層処分は可能だと判断したリポートを金科玉条のごとく扱っている。聖書を絶対視し、異論を不当に封じたかつてのローマ教会と重なって見える。

意に沿わぬ科学者の口を一時的に封じられたとしても、科学的真理を都合良く変えることはできない。ガリレオの例が示している。

核のごみをどうするのか。地層処分の適地はあるのか。たと思わしくない結論が出ようとも、政府は、科学的な議論を尽くさなければならぬ。東京電力福島第1原発では、専門家が英知を集め、巨大津波の可能性を示唆した地震予測「長期評価」を軽んじて深刻な事故を招いた。その教訓を生かすことにもつながるはずだ。

今この自民党の金問題を見ていると、自分たちとつながる企業家の利益のみを見て政治をやつて来たのだなとわかる。

本の紹介

なぜ日本は原発を止められないのか？

青木美希著 文春新書

1100円







● 関連する新聞記事(地域)

- (2/22中) 中電上岡町道を整備、原子力カマネーと地域
- (2/29中) 上岡町民ら東京で反対訴之集会、県内5団体や野党の国会議員ら約40人が参加。
- (3/1ア) 西晋天上岡町長インタビュー。
- 町維持への必要性強調。原子力に頼るのほなせや、定住できる環境を、交付金は1億円、福祉関係に充たす。
- (2/29中) 交付金1億3千万円、上岡町予算案。
- (3/5中) 中間貯蔵反対求の請願。
- (3/12中) 中電上岡準備事務所前まで、「上岡原発を建てるな」といふ県民連絡会(東部実行委員会)が集会。
- (3/10中) 中間貯蔵に反対、指願不採択、県議会、住民団体の受け。
- (3/15中) 原発の貯蔵施設視察事業。
- 上岡町民参加を強く、想定の4割、予算執行29%。町は50人の参加を想定し、60万円を予算化、1月24日に12人、2月18日に9人が視察。2月29日と3月10日、17日に視察したのが申し込みにあらず中止した。
- (3/15ア) 「中間貯蔵」計画の上岡住民の思いは、「また振り回されてみんなの心が揺らぐ、こんなことがなければみんなええ人なのに」
- (3/15ア) 中間貯蔵めぐり、住民投票否定的、上岡町長、議会ご答弁。
- (3/16ア) 中間貯蔵「計画の上岡、住民の思いは」分断の壁、越える動きも。「住民は推進か反対かの両極端じゃなくてグレーゾーンがほとんど。みんなこういう会に出て、勉強して、自分の頭で判断すればええ」
- (3/16ア) 菅ボウおしいし、知って、未利用魚、上岡の特産に。
- (3/17中) 周辺住民、反対投票の割、県東部団体企画、中電の中間貯蔵施設↓P9
- (3/19中) 「原子力カマネーと地域」① 原発道路、5電力公道整備に周知、直接整備、無償提供は甲電だけ。
- (3/21中) 原子力カマネーと地域 ② 細る産業者、建設業界、震災の苦境、中間貯蔵計画に期待感。
- (3/22中) 原子力カマネーと地域 ③ 「ハコモ」の町を再めぐり、わうーの採算課題、温浴施設、道の駅、共に町から援助。
- (3/23中) 原子力カマネーと地域 ④ 中電の事情、福島事故後経営に逆風、中間貯蔵、費用抑制図る。
- (3/24甲) 原子力カマネーと地域 ⑤ 新たな計画、中間貯蔵、蔵、春景の。



● その他の地域の記事

- (2/26ア) 安岡沖の風力発電市長「絶対阻止」下岡市政報告会を説明
- (2/27中) 光市長が5選不出馬。
- (3/1甲) 大規模風力発電撤回求める52筆、岩口の自然を未来へ手渡す会が2月28日、福岡市長に提出。
- (3/16中) 山口県生物多様性センター開設。
- (3/19中) 地域新電力出資契約結ぶ、4月設立、山口市と民間各社。



P9からのつづき

- (3/15日) /AEAに29億円支援、外相「原子力の平和利用促進」
- (3/15日) 核融合発電30年代に実証、レーザー型の開発を先行、ポロリス、リバモア国立研究所。
- (3/15ア) 東電の債権金、震災前の水準に。
- (3/15中) 強まる「AEA頼み」除染工や再稼働も支援期待、口民理解拡大のうら。
- (3/15ア) 政府の核融合推進、若田電池、手置準備、少ない西エネ。
- (3/14日) 浮体式洋上風力4社連合
- (3/14日) A1到来、電力はどうなる。
- (3/20中) 再エネ負担、月836円増
- (3/20新潟日報) 柏崎刈羽原発の早期再稼働を求める請願、あす市議会を採択へ、能登、地震後、なぜ今、提出の高議所一部公員に不満
- (3/22 新潟日報) エネ庁長官「再稼働進める、柏崎、原発、知事への同意、要請、原発事故時の避難への不安を取り除く具休策は一切示さず。
- (3/22中) 原子力復活ハサミント、ベルギー脱炭素と成長両立強調
- (3/23日) 意見広告、国民が大棒をこける(3月24日)以上の国民の負担の再エネ賦課金、
- (3/24中) 原発3倍と言ふ、気候変動対策にならざる、一原子力省資料情報室事務局長、松久保潔、
- (3/26中) /AEA、柏崎「原発調査、市地、市村議会は再稼働要請、
- (3/27中) 市町村の4%が太陽光トウプル、競争者調査、泥水流出、事業者の事前説明、不十分。